

宇都宮市立清原東小学校第6学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分には良いところがある」と回答した児童が78.5%と国の平均よりやや高い。さらに、自己肯定感が高まるように励ましていく。

○「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童が92.3%、「人の役に立つ人間になりたい」と回答した児童が96.9%と、夢や目標をもって、社会に貢献できるような人間になりたいと思う児童が多い。これは、総合的な学習の「夢に向かって」の単元や、本校の段階的なキャリア教育推進の成果と思われる。

○「家の手伝いをしている」と回答した児童が84.7%と、国の平均よりやや高い。

○「学校に行くのは楽しい」と回答した児童が89.2%、「友だちに会うのは楽しい」と回答した児童が100%と、学校が好きで友達関係が良好な様子がうかがえる。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と回答した児童が100%となっており、意識が高まっている。

○「国語(算数)の勉強が好きである」「国語(算数)の勉強は大切である」「国語(算数)の授業がよく分かる」と回答した児童が国の平均よりもいずれも高く、学習に対して意欲的で、前向きに取り組んでいる様子が分かる。しかし、「家で学校の宿題をしている」と回答している児童が国の平均よりも低いことから、学習の大切さが分かっているにもかかわらず行動が伴わないことがうかがえる。今後は家庭学習の大切さを知らせるとともに、児童自らが取り組めるような学習内容のプリント等を用意する。

●「友だちの前で自分の考えや意見を発表することが得意である」と答えた児童が43.1%と国の平均より低く、間違えることを恐れ、発表に対して消極的な姿勢が分かる。そのために、積極的に発表する児童を賞賛するとともに、小グループでの発表の機会を増やしていく。

●「テレビやDVDを見たりしている時間が一日あたり3時間以上である」と回答した児童が41.15%、「ゲームの時間が一日あたり3時間以上である」と回答した児童が18.4%と、「携帯電話やスマートフォンなどで通話やメール、インターネットをしている時間が一日あたり3時間以上である」と回答した児童が7.7%と、いずれも国の平均より高く、平日、家庭でテレビやゲーム、インターネットに多くの時間を費やしている児童が見られる。今後は、テレビゲームやインターネットの費やす時間を減らし、家庭学習を習慣化できるように支援していく。